



2020年4月1日

各 位

会 社 名 第一生命ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 稲垣 精二
 (コード番号: 8750 東証第一部)
 問合せ先 経営企画ユニット IRグループ
 (TEL 050-3780-6930)

業績予想の修正及び特別損失(単体)の計上に関するお知らせ

2019年5月15日(1株あたり当期純利益は2020年2月14日)に公表した2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正し、また、特別損失(単体)を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

2020年3月期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,931,000	417,000	226,000	199.61
今回発表予想 (B)	6,931,000	208,000	17,000	15.06
増減額 (B-A)	0	△209,000	△209,000	
増減率 (%)	0.0	△50.1	△92.5	
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	7,184,093	432,945	225,035	194.43

(1) 連結業績予想の修正理由

経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、第一フロンティア生命の市場価格調整に係る責任準備金の繰入負担が海外金利の低下を受けて1,605億円増加する見込みであること、および持分法適用関連会社であるJanus Henderson Group plc株価の大幅な下落に伴う有価証券の額の減少に係るその他経常費用485億円を計上する見込みであることから、減少する見込みです。なお、株主還元の出発点であるグループ修正利益(2,400億円程度)について修正はございません。また、経常収益に関する修正はございません。

(2) 株主配当予想

2020年3月期 配当予想（1株当たり配当金62円）に関する修正はございません。

(3) 特別損失（単体）の計上

上記 Janus Henderson Group plc 株価の大幅な下落に伴い、2020年3月期の当社単体決算において同社株式の減損処理を行い、関係会社株式評価損602億円を特別損失に計上いたします。なお、当該特別損失は、連結決算では相殺消去され、上記その他経常費用485億円のみが連結決算では計上されます。

(注) 上記の各数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上